

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No. 2010

科目概要記入欄

1. 開設大学	広島市立大学		開催方法	■対面（ 本学 ）	
				□オンライン（同時・録画・資料提示）	
				□その他（ ）	
	正式科目名 副題	地域再生論		配当年次	2年次以上
				受入学年	全学年
	学問分野	番号	27	名称	社会科学系 その他
3. 担当教員名	金谷 信子、山根 史博、目黒 紀夫				
4. 単位数	2単位	5. 開講学期	後期		
6. 開講期間 曜日・時間	2025年10月6日（月）～ 2026年1月26日（月） 月曜日 14:40～16:10				
7. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」（ ） 2. 「基礎知識を必要としない科目」				
8. 募集人数	10人	9. 選考方法	抽選		
10. 科目内容・ 授業計画	<p>・高度成長期から深刻化してきた地方の疲弊の実態、また様々な課題が絡み合う地域再生という難題について深く学ぶ。</p> <p>・地域再生のためのアイデアをグローバルな視点を交えながら議論することを通じて、地域再生の方策について展望する力を身に付ける。</p> <p>・地域経済の活性化が鍵と言われるが何をどうすれば良いのか、地域に関心を持つ若者が増え田園回帰が言われているが現実はどうなのか、現場の実態や取り組みを学ぶことを通して幅広い知識を身に付ける。</p> <p>・地方消滅という危機感が高まるなか全国的に展開されている地方創生戦略の実態を通して、可能性と課題を理解する。</p> <p>第1回 ガイダンス：地域再生の背景（金谷） 第2回 地域再生は何をめざし誰が担うのかーソーシャル・キャピタルという視点（担当：金谷） 第3回 「居住地」としての地域の価値を測る（担当：山根） 第4回 「観光地」としての地域の価値を測る（担当：山根） 第5回 「島おこし」の成功理由を考える①：カリスマ町長の戦略（担当：目黒） 第6回 「島おこし」の成功理由を考える②：聞き書きから浮かび上がる個性（担当：目黒） 第7回 「島おこし」の最前線：「大人の島留学」という新企画（担当：目黒） 第8回 広島県の地域再生政策（担当：金谷） 第9回 外国系住民との共生（担当：金谷） 第10回 ワークショップ 第11回 日本酒と地域文化の共進化関係を考える（担当：山根） 第12回 観光振興が地域住民にもたらす影響：直島のアートプロジェクト（担当：山根） 第13回 観光開発が地域社会にもたらす影響：アフリカ各地の事例（担当：目黒） 第14回 地域再生は誰のため？ 地域振興政策の系譜 競争 vs 再配分（担当：金谷） 第15回 まとめ（担当：全員）</p>				
11. 試験・評価方法	課題・レポートの評価（80%） 授業の参加態度（20%）				
12. 別途負担費用					
13. その他特記事項	外部講師等の都合により、授業計画の変更がある場合があります。				
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ			可	
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ			可	